

中央病院×ディカルラリー

2018年1月27日(土)京都民医連中央病院第3回×ディカルラリーを行いました。この目的は、急変患者が分かり、初期対応を行う。これをチームで行います。看護師は発見から応援要請、初期評価と NEWS*₁ を評価し、モニターや酸素、点滴などを行いながら ISBARC*₂ で医師に応援を要請。医師は ABCD 評価*₃ (2次評価) を行い、鑑別の為の SAMPLE*₄ 聴取、他必要な検査を行うというもの。競技時間は10分で、どれだけの項目をクリアできたかを評価します。今回のシナリオは、ショック(循環血液量減少性ショック)・アナフィラキシーショック・意識障害(糖尿病性ケトアシドーシス)・ACS(右室梗塞)の4ケース。プレイヤーは5人で1チーム。合計6チームで行いました。



説明風景 (プレイヤーはシナリオを知らないのでドキドキです)



発見からの患者からの聴き取り

スタッフを呼び1次評価



医師を呼び2次評価

医師は必要な検査を指示



指示に悩む医師。患者にやさしく対応する看護師。チームによって異なる対応があり、時にはCPAになってしまったり…



振り返り

- *病棟でも NEWS スコアや SBAR^{*5}を用いて観察・アセスメントしていこうと思う。
- *介護士や検査技師、臨床工学士などからも、聞く事も学ぶ事も初めてだったので勉強になった。患者役では、急変対応では治療に専念するだけでなく、落ち着いて、時折「大丈夫ですよ～」という言葉かけなど、些細な配慮が不安な患者にとってはとても心強く安心感を与えるんだと勉強になった。など、コミュニケーション、チームワークの大切さを学んで頂いた様です。

参加者の感想

- *様々な急変対応ができて勉強になった。
- *あれかな？これかな？と悩んでいるうちにCPAになってしまった。
- *始まる前は何が始まるやら緊張したが、いざ始まるとチームで取組んで進んでいくのが面白かった。
- *チームのメンバーとコミュニケーションをとり、役割分担してうまくできた時はとても達成感を感じた。
- *サービスステーションで不正解を出し、まずい飴を食べた。



表彰式

井上先生より、スタート時にアクシデントはありましたが、コミュニケーションとチームの力が大切と言う事が分かっていただけたのではないかと思います。勉強スライドや動画等の準備もとても良かった。と感想をいただきました。

*1…National Early Warning Score の略

*2と5…Identity:報告者、患者)Situation:問題となる状況)Background:状況を理解するための背景)Assessment:問題についての考えや判断)Recommendation:具体的な提案・要請内容)Confirm:指示受け内容の口頭反復)の頭文字をとったもの

*3…Airway:気道)Breathing:呼吸)Circulation:循環状態)Disability:意識レベル)の評価のこと

*4…主訴、症状・アレルギーの有無、原因・薬の服用の有無・既往歴・最終摂取時間、飲水時間・発症の経緯、現病歴のこと

中央病院 ACLS チーム